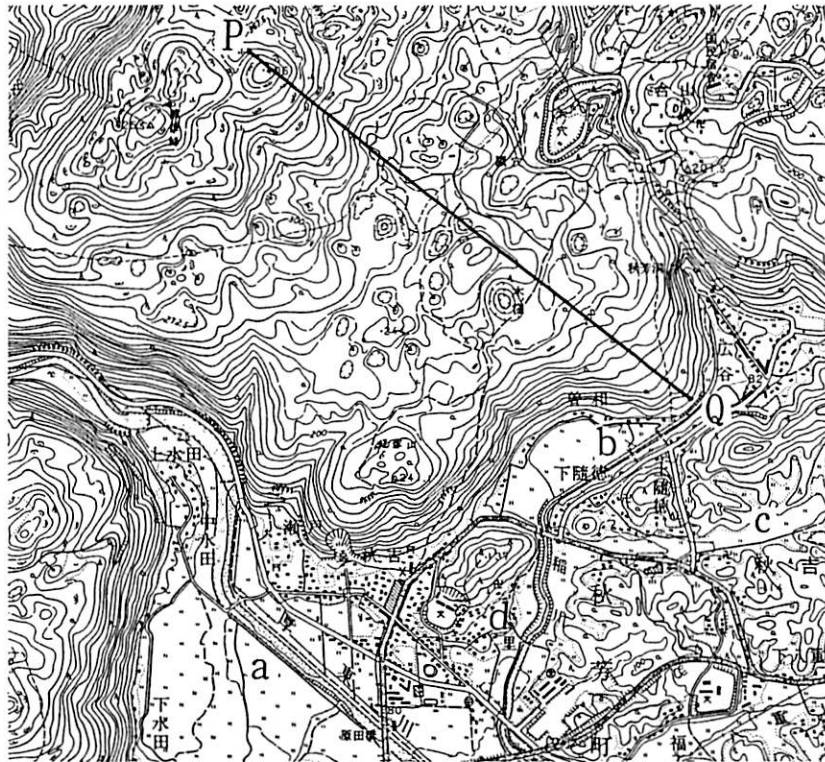


A日程 社会学部(第1・2部) 2/6実施

1985年
カルスト
地形

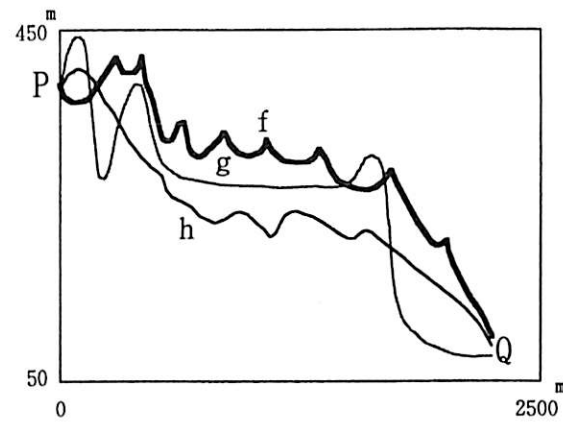
[I] 次の地形図に関連した(A)~(J)の各文の〔 〕の中の語句から最も適当なものを選び、その記号をマークしなさい。(ただし、この図の縮尺は原寸大である)



(243)

- (A) この地形図には〔ア〕笠野原台地 〔イ〕牧ノ原台地 〔ウ〕平尾台〕と並ぶ代表的な石灰岩台地が認められる。
- (B) 石灰岩台地では溶食地形が見られるが、この地形形成には雨水中の〔ア〕二酸化炭素 〔イ〕二酸化窒素 〔ウ〕二酸化硫黄〕が関係している。
- (C) この地形図に見当たらない地図記号は〔ア〕史跡・名勝・天然記念物 〔イ〕採石地 〔ウ〕城跡〕のものである。
- (D) 地形図上の〔ア〕a 〔イ〕b 〔ウ〕c〕の谷底平野は、石灰岩地域と非石灰岩地域の境界をなす。

- (E) 地形図上bの稲川右岸の「里」という集落が立地するd付近は、稲川沿いの低地より多少高くなっている。この地形は、〔ア〕自然堤防 〔イ〕河岸段丘 〔ウ〕扇状地〕といえる。
- (F) 地形図上のa, b, cの谷底平野のうち、最も急な河床勾配を持つものは〔ア〕a 〔イ〕b 〔ウ〕c〕である。
- (G) 地形図上の秋芳洞西方の台地上にある「木ノ窪」と称されている凹地は、形態からすると〔ア〕ウバーレ 〔イ〕ドリーネ 〔ウ〕ポリエ〕と考えられる。
- (H) 地形図上aやb周辺の谷底平野は、〔ア〕ウバーレ 〔イ〕ドリーネ 〔ウ〕ポリエ〕の一種といえる。
- (I) 地形図上の秋芳洞北西方の台地上にある「矢ノ穴」と称されている凹地は、形態からみて〔ア〕ウバーレ 〔イ〕ドリーネ 〔ウ〕ポリエ〕の一種といえる。
- (J) 地形図上のP-Q間の垂直断面図として示された下図のうち、正しく描かれているのは〔ア〕f 〔イ〕g 〔ウ〕h〕である。



2008年 11月 地理

[I] . 次の文を読んで、以下の問に答えなさい。

カルスト地形は、溶食によって(1)岩地域に形成された地表と地下の地形とされる。つまり、カルスト地形は主に(2)的作用によって形成された侵食地形ということになる。

降水は空気中の(3)素を吸収して弱酸性となつてはいるが、土壤空気中の(3)素の割合は大気中と比べて非常に大きく、これは(4)遺体の分解などにかかわる腐植酸などと共に、溶食の主要な因子となっている。つまり、カルスト地形は地表に広く(4)と土壤が分布していることでより活発に形成されることになる。

図には地表と地下の地形、割れ目や水の流れる方向が示されている。地表付近のaには、(5)と呼ばれる様々な直径のすり鉢状凹地が見られる。この凹地がつながったり崩落したりして、ついには、図の右方の地表河川が流れるほどまでに侵食されて形成された盆地bは(6)と呼ばれる。先の文の下線で示した割れ目や崩落は(7)的作用に基づくものである。

地下の横方向に伸びる横穴〔(ア) c (イ) d〕は洪水時には地表の河川と同様に削られる。横穴〔(ア) c (イ) d〕はこのようにしてできた横穴が離水したものである。

このような考えを採用すると、カルスト地形の形成には(7)的作用も重要な働きをしていることになる。さらに、(8)洞内の(8)石などは広く知られているが、これは堆積地形にあたるものである。

問(A) (1)～(8)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

[語 群]

- | | | | |
|--------|----------|---------|----------|
| (ア) 窒 | (イ) 動物 | (ウ) 鍾乳 | (エ) ポリエ |
| (オ) 石灰 | (カ) 化学 | (キ) 火山 | (ク) ウパーレ |
| (ケ) 酸 | (コ) ドリーネ | (ク) ノッチ | (シ) 二酸化炭 |
| (ス) 物理 | (セ) 植物 | | |

問(B) 横穴〔(ア) c (イ) d〕と横穴〔(ア) c (イ) d〕の〔 〕中の語句のうち①②いずれが正しいか。正しいものを選び、その記号をマークしなさい。

問(C) 下記の(ア)～(ウ)のカルスト台地について、()内に示したそれぞれが分布する県名で不適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 秋吉台(山口県) (イ) 平尾台(福岡県)
 (ウ) 喜界島百之台(沖縄県)

